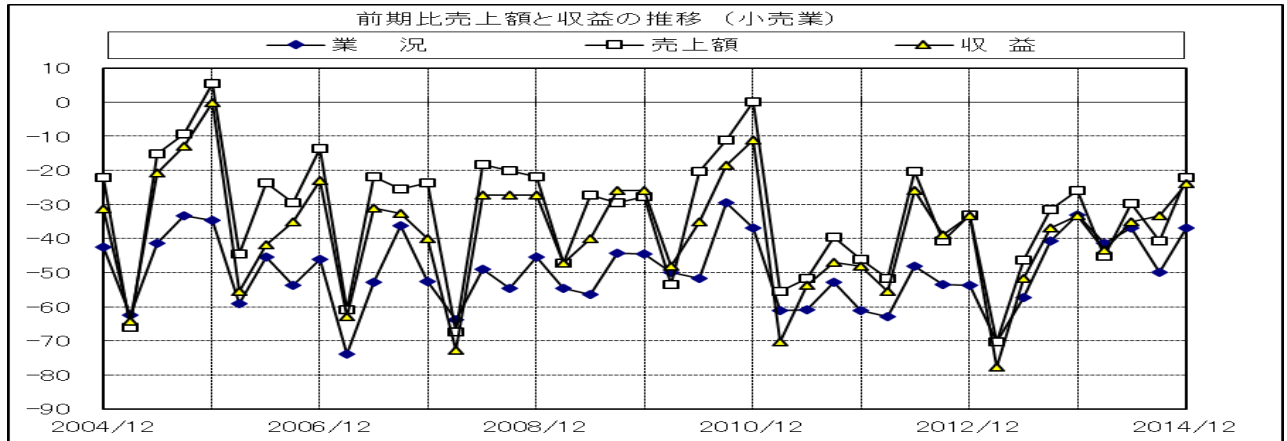


小売業 54企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業況	-37.0	-49.9	-37.0	-53.7
売上額	-29.7	-40.7	-22.2	-38.8
収益	-35.2	-33.3	-24.0	-37.0

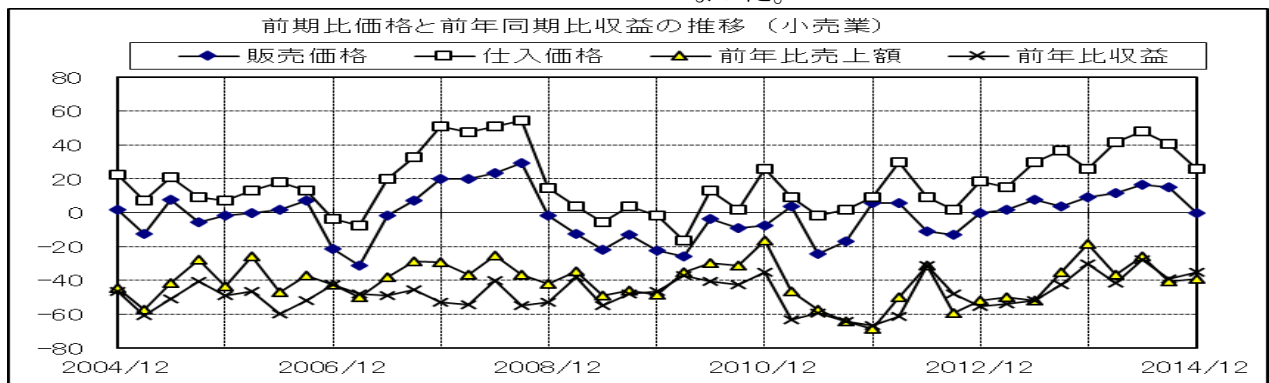
今期の業況判断DIは△37.0と、前期比12.9ポイント上昇した。地区別のDIは高い順に、三石、えりも、広尾、浦河、様似、静内の順となった。業況判断DIは、前年（△33.2）比3.8ポイント下降した。売上額判断DIは△22.2と、前期比18.5ポイント上昇した。収益判断DIは△24.0と、前期比9.3ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	16.7	14.8	0.0	-7.4
仕入価格	48.1	40.7	25.9	12.9

販売価格判断DIはゼロ水準で、前期比14.8ポイント下降した。仕入価格判断DIは25.9と、前期比14.8ポイント下降、価格上昇基調を弱めた。販売価格は前年（9.3）比で9.3ポイント下降。仕入価格は前年（25.9）比横ばいとなった。業種別には衣料品で販売価格は横ばい、仕入価格は下降した。食料品は販売価格・仕入れ価格ともに上昇した。家電品は販売価格が上昇、仕入価格は横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-20.4	-9.3	-7.5	-9.3
人手状況	-5.6	-11.2	-16.6	-11.0

残業時間判断DIは△7.5と、前期比1.8ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△16.6と、前期比5.4ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

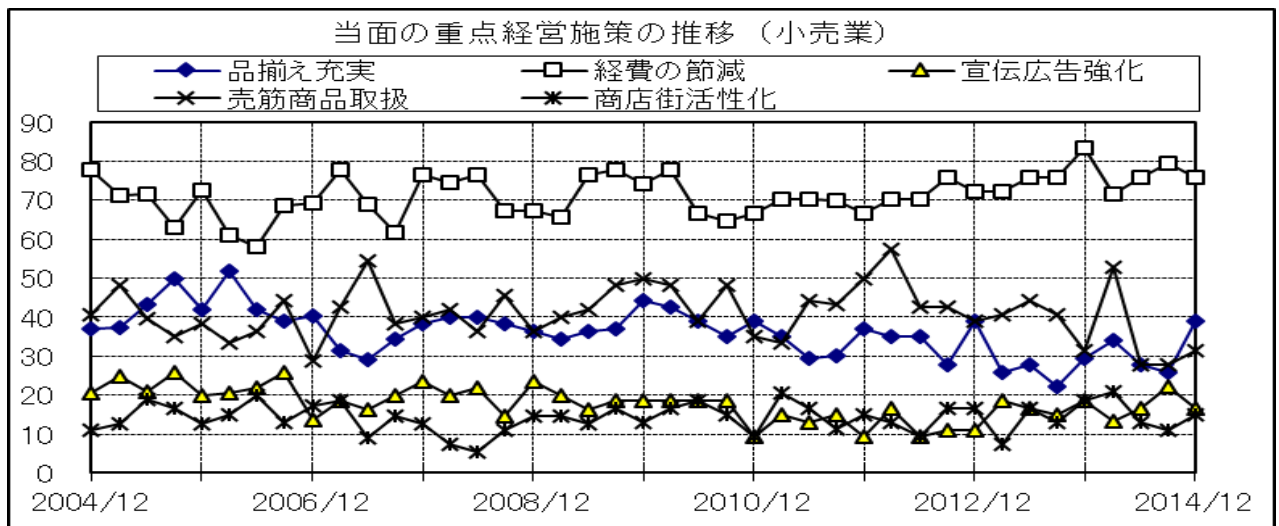
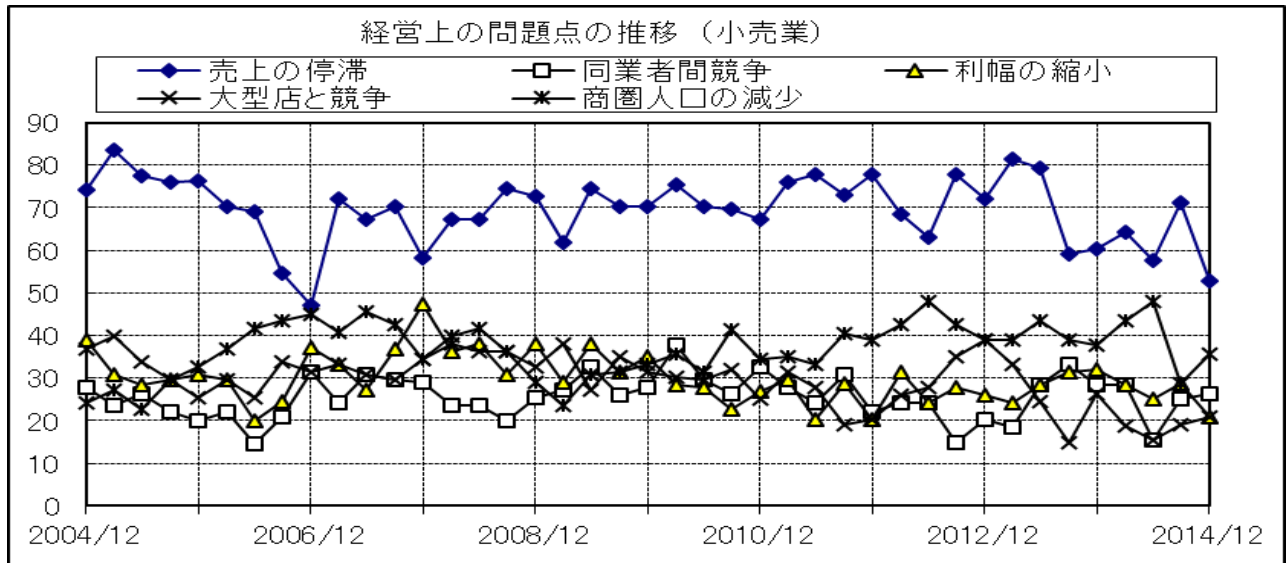
設備投資の充足感を示すD Iは△13.0と、前期比5.6ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は9.3で、前期比1.9ポイント上昇、前期の4社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ52.8%、次に「商圈人口の減少」が35.8%、「同業者との競合」が26.4%、「大型店との競合」・「利幅の縮小」が20.8%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ75.9%、次に「品揃えを改善する」38.9%、「売れ筋商品取扱い」が31.5%で続いた。「仕入先を開拓選別」は22.2%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△53.7と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D Iは△38.8と、今期比16.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D Iは△37.0と、今期比13.0ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D Iは△7.4と、今期比7.4ポイントの下降を見通している。

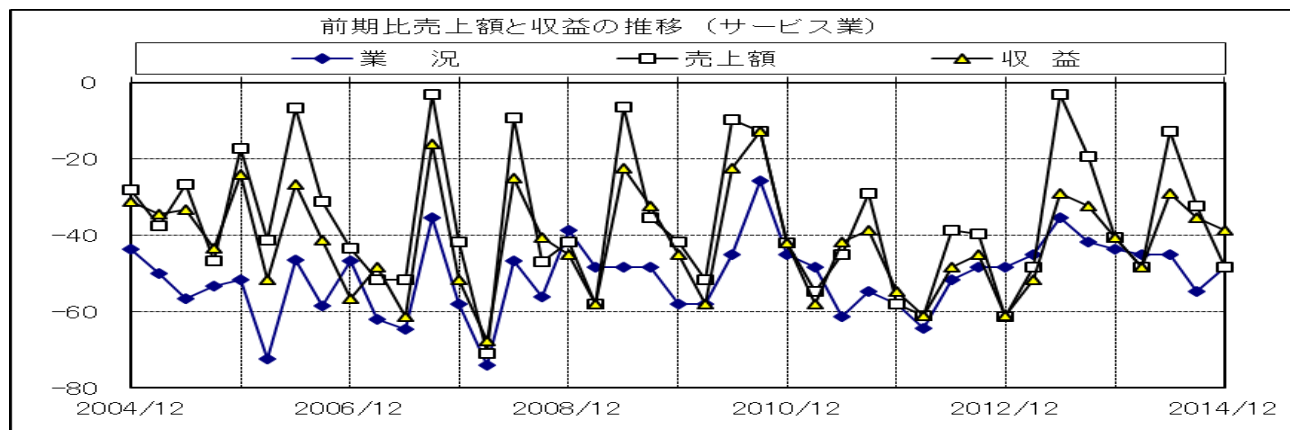
予想仕入価格判断D Iは12.9と、今期比13.0ポイントの下降を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業 況	-45.1	-54.8	-48.4	-48.5
売上額	-12.9	-32.3	-48.4	-45.2
収 益	-29.0	-35.5	-38.7	-38.7

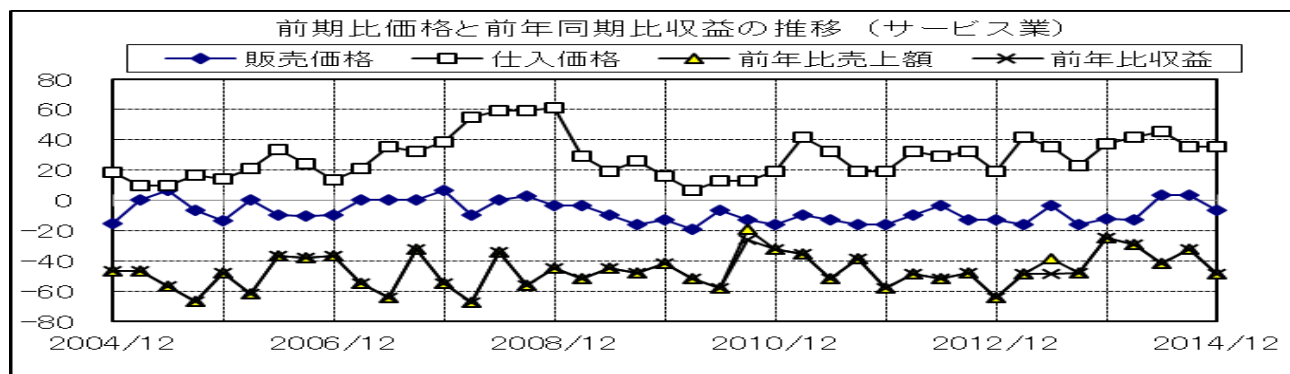
今期の業況判断DIは $\Delta 48.4$ と、前期比6.4ポイント上昇した。地区別のDIは高い順に、えりも、次に静内・様似・広尾は同水準で並び、浦河、三石の順となった。前年($\Delta 43.7$)比では4.7ポイントの下降となった。売上判断DI $\Delta 48.4$ 、収益判断DI $\Delta 38.7$ は前期比16.1、3.2ポイントともに下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
料金価格	3.3	3.2	-6.5	-6.5
材料価格	45.2	35.5	35.5	32.4

料金価格判断DIは $\Delta 6.5$ と、前期比9.7ポイント下降した。材料価格判断DIは35.5と、前期比横ばいの水準となった。業種別にみると洗濯理容業は、料金価格、材料価格とも下降。自動車整備業、旅館業では料金価格が下降し、材料価格は上昇した。料金価格は前年($\Delta 12.4$)比で5.9ポイント上昇、材料価格は前年(37.6)比2.1ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見実績	1～3月 期見通し
残業時間	-22.7	-13.0	-19.4	-19.4
人手状況	0.0	-12.9	-9.7	-6.4

残業時間判断DIは $\Delta 19.4$ と、前期比6.4ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

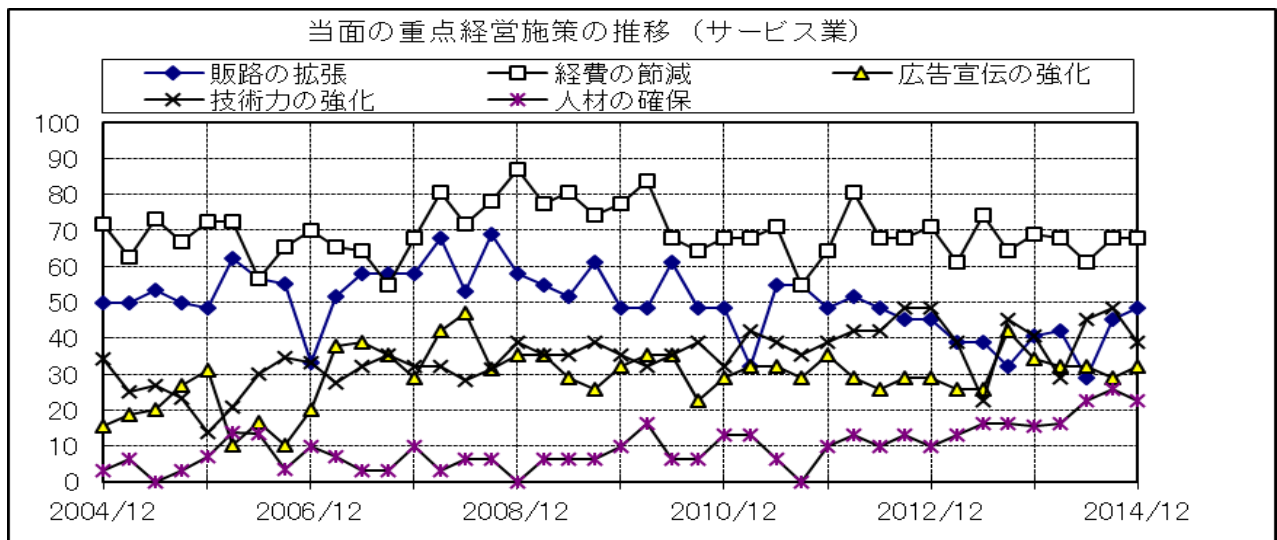
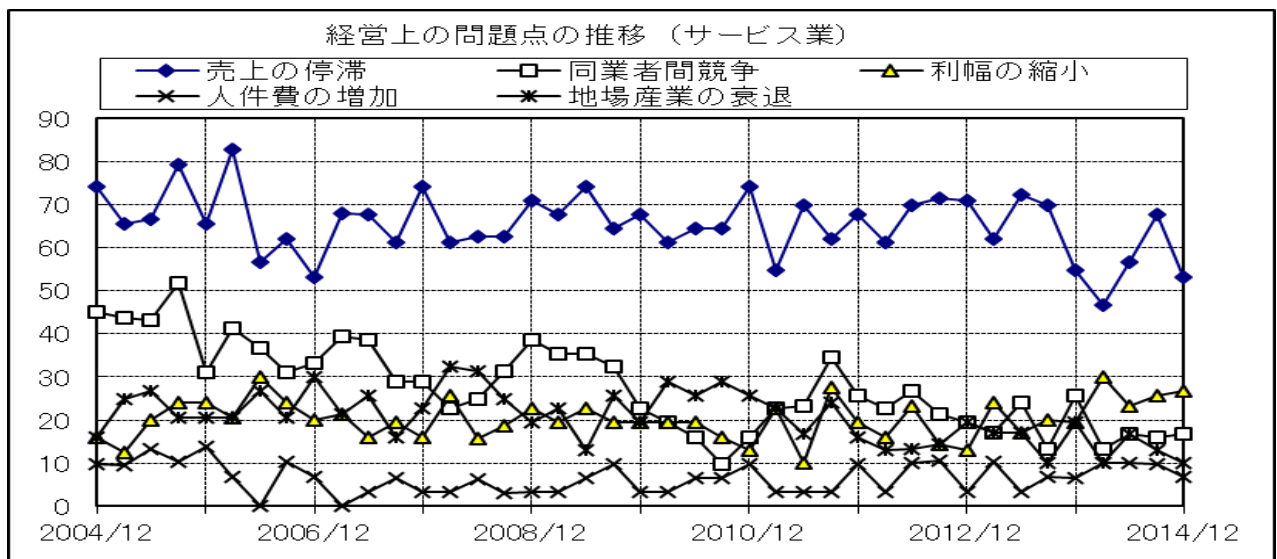
人手過不足判断DIは $\Delta 9.7$ と、前期比3.2ポイント上昇し人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△6.4と、前期比13.0ポイント上昇し不足感は弱まった。
 設備投資実施企業割合は16.1で前期比12.9ポイント減少。前期9社の実施に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ53.3%、次いで「材料価格の上昇」43.3%、「商圏人口の減少」30.0%、「利幅の縮小」が26.7%で続いている。重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ67.7%、次いで「販路を広げる」が48.4%、「技術力を強化する」38.7%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△48.5と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断D Iは△45.2と、今期比3.2ポイントの上昇を見通している。
 予想収益判断D Iは△38.7と、今期横ばいの水準を見通している。
 予想料金価格判断D Iは△6.5と、今期横ばいの水準を見通している。
 予想材料価格判断D Iは32.4と、今期比3.1ポイントの下降を見通している。